

よろこびの泉

わたし(イエス・キリスト)が与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。
(ヨハネ 4:14)



朝のあいさつ

河野 進

家庭で 道で 職場で
誰に会っても真っ先に
体じゅう明るくほほえんで
お早うございます
今日も健やかに生かされる喜びの確かめあいを
金も時間もかからず
一瞬の好意の贈物を
主イエスさまも祝福して下さい

河野 進詩集「萬華鏡」より

発行所 〒630-0266 奈良県生駒市門前町七一四〇 日本ミッシヨン
電話〇七四三(七三)一七五四 振替口座〇九三〇一六四三番

発行人 フアベイ・D
編集人 日本ミッシヨン編集部

印刷所 〒350-0303 埼玉県比企郡鳩山町熊井一七〇
新生宣教団印刷部
電話〇四九(二九六)〇七二七

一年分 送料共 九〇〇円
定価 一部 一八円



質問室 問、高校卒業の日が来ました。就職試験を先生に勧められ、でも関心が無く、仕事が決まらないまま学校を出ることになりました。将来の夢や目標もなく、誇れる特技や得意なスポーツもありません。今は誰にも会いたくありません。

答 「大きくなったら〇〇になりたい」と目を輝かせて夢を語ることは幼児でもいたします。六歳になる私の孫娘は「大人になったら通訳になる」と一生懸命です。英会話教室の同年齢の生徒の中で、先生と英語で対等に話せるのは孫娘ひとり。その意欲に上達も早く先生も驚いています。

今、卒業時、自分の進路を決めて社会に一步踏み出すことが出来ない生徒が増えています。就職しても人間関係が築けず、すぐ辞めてしまう若者が少なくありません。「七・五・三」と言われ、折角就職できたのに、三ヶ月以内に離職する中学卒業は七割、高校卒業は五割、大学卒業は三割だそうです。それもキャリアアップの転職ではなく、人や仕事になじめず続けられないのです。青年期は将来を夢見て困難に

親と子のしあわせ

381

4月になり我が家の長男は大学2年(名古屋在住)、長女は高校1年、次女は中学1年になりました。新しい生活の始まりです。

私の勤める幼稚園でも新しいお友だちが入園し、進級した子どもたちも張り切っています。はじめは泣いてばかりいる子ども、しばらくすれば園生活を楽しむようになります。

「先生、見て。出来たよ。」「先生、僕も見てよ。」「先生、見てね。」子どもたちは「見て」とよく言います。私は目が2つしかないで、1人しか見られずにいると「ね。見てなかった。」

中で苦勞して必死で求めた経験が無いのです。義務教育は国の責任において人に、生きていく基本的な知識、ものを読んだり書いたりする、計算が出来る、社会に適応して正しく生きてゆける知恵を身につけさせると言うことですが、教育が、知識の詰め込みが主となり、人間としての精神的成熟がなござりになって、社会に出て困難に遭ったとき、冷静に受

見えてよ。いい。ちゃんと見て」と時々子どもたちに言われてしまいます。お母さん方が園にいらしたとき、ある子が「お母さん見てね。鉄棒出来るよ」と言う。他の子も「私だって出来るから。お母さん見て」と負けじと鉄棒をしていました。子どもたちは、見て、認めて、ほめてほしいと思っているのです。我が家の子どもたちも小さかった頃、「お母さん、見てね」とよく言いました。でも、私は子どもたちから、「お母さんは、見ると言いながら、見てないもんね」と言われたことが度々あり、思い出しても恥ずかしいです。大人は、忙しかったり、他のことで頭がいっぱいだったりで、見ているように見えてい

け止め対処していく知恵が生まれてこないのです。人生には様々な困難が起こります。そんな時それを切り抜ける知恵、そんな知恵はどこにあるでしょうか。文字さえ読むことが出来ればそれを本語の聖書です。

「私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にいる道も

知っており、豊かさの中にある道も知っています。……あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。」(ピリピ4:11-12) どうか家に閉じこもらないで教会に行ってください。そして聖書を読み、どんな困難も最善に変えてゆく神の知恵によって救いと幸せを見いだしてください。

(児玉 博之)

い時があります。子どもたちも成長すると、いちいち「見て」とは言わなくなります。その時こそ見ないといけないのかもしれない。長男が小学1年のとき、友だちの事で親も悩みました。学校の先生から電話があり、休み時間一人で図書室にいることを知りました。でも学校を休むとは言わず、がんばって行きました。心が一杯になったとき、長男は大泣きました。その後だんだんと心も元気になり、状

況も良くなって安心しました。聖書に「あなたの羊の様子をよく知り、群れに心を留めておけ。」(箴言27:23)という言葉があります。見えることを見ることは大切ですが、見えないがんだりや、見えない悩みを読み取ることも大切だと思っています。4月から5月にかけての時期、特に希望と不安でいっぱいの子どもたちをよく見て、一緒に話し、共感することを大切にしたいです。

(相原 幸紀美)

*この「よろこびの泉」は、統一協会、エホバの証人、モルモン教のものではありません。これらの問題でお困りの方は、上記の教会にご連絡ください。

